

全港湾東北地方青年婦人部
書記長 渡邊健也

2026年フクシマ連隊キャラバンに参加しました。私は4年連続の参加になり、全港湾東北地方青年婦人部書記長として日程を組み団長のサポートをしました。今年度も北は北海道、南は沖縄から「脱原発」に向けて熱い気持ちを持った仲間たちが福島に集まってくれました。

初日の結団式では、自己紹介、普段している仕事、キャラバン参加に向けての決意表明をマイクに込めてくれました。キャラバンへの士気が高まる良い結団式でした。

二日目は、「地元福島の現状を全国の仲間たちに向けて発信したい」と思い被災地のフィールドワーク、伝承館見学を行いました。メディアでは報道されない生の現地を見られてよかったとたくさんの報告をもらいました。やはり実際に現地に行き、肌で感じることの大切さを改めて痛感しました。今後も、現地に行き、弱い立場の人の意見を吸い上げ発信していきたいと思います。

三日目は、3コースに分かれて要請行動を行いました。私はBコースの要請をしました。5自治体を要請しましたが、代表が対応してくれたのは1自治体のみでした。各自治体の温度差を強く感じました。隣県で原発事故が起きたことを分かっていないことが問題だと思います。今後も原発がなくなるまで要請を続けて行きたいと思います。

最終日は代々木での全国集会に参加しました。壇上では大きな拍手で迎えられ、キャラバン隊団長が全国に向けてキャラバンでやってきたことを発信してくれました。この4日間で出会った仲間は私にとって大きな財産になると思います。今後も原発事故があった福島から全国、そして世界から原発がなくなるまで活動していきたいです。